

# 海洋プラスチックごみ汚染 の現状

researched by 東京海洋大学

## 趣旨説明

2019年6月に開催されたG20では、2050年までに新たなプラスチックごみ(プラごみ)による海洋汚染をゼロにすることを目標とした「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が採択され、海洋のプラごみの問題意識は世界中で共有された。また、2022年2月から3月にかけて開催された国連環境総会(UNEA5.2)において、海洋環境等におけるプラスチック汚染に関する条約の策定に向けた政府間交渉委員会(INC)の設置が決まるなど、海洋プラスチックごみについてさらなる対策の強化を求める国際的な議論が高まっている。このように、海洋における様々な海域でプラスチック汚染の現状把握やその生物への解明はますます重要な課題となっている。東京海洋大学では2014年度から取り組んできた海洋ゴミの調査をベースに、2018年に海洋プラスチック研究の中核拠点を形成し、この課題に取り組んでいる。

本シンポジウムでは、本学がこれまで取り組んできた海洋プラスチックごみやマイクロプラスチック(MPs)に関する研究成果を紹介しながら、その汚染状況および今後の課題について報告する。

## プログラム：司会進行 荒川久幸

13:00 - 13:20	海洋プラスチックごみとは？	東海 正 (海洋生物資源学部門)
13:20 - 13:40	海洋プラスチックごみの観測・計測方法(動画)	黒田 真央 (現九州大学応力研)
13:40 - 14:00	日本周辺の海洋プラスチックごみ(動画)	内田 圭一 (海洋資源エネルギー部門)
14:00 - 14:10	海鷹丸より(Live中継)	
14:10 - 14:30	日本沿岸のMPs汚染	中野 知香 (現九州大学応力研)
14:30 - 14:50	微細なMPsの分布や調査法の開発	荒川 久幸 (海洋環境科学部門)
14:50 - 15:10	干潟のカニのMPsの摂取要因について	横田 賢史 田野入 開 (海洋生物資源学部門)
15:10 - 15:15	まとめ	東海 正

日時：7月18日(13時-15時15分)  
方法：web(リアルタイム)

QRコードまたはURLからご登録ください

<https://tumsat.webex.com/tumsat-jp/j.php?RGID=r2f38bbf34b676f475c0cedc6a4733ee4>

問い合わせ先：荒川久幸 [arakawa@kaiyodai.ac.jp](mailto:arakawa@kaiyodai.ac.jp)

ポスター制作：上山直史

